

川崎市農政情報誌

～第12号～

かわさきそだち

～『農』のあるライフスタイルをめざして～

発行 川崎市農業振興センター

〒213-0015

川崎市高津区梶ヶ谷2-1-7

電話 044-860-2462

FAX 044-860-2464



農地を
お持ちの
方へ

生産緑地地区の追加指定のお知らせ

平成22年度に引き続き、平成23年度も生産緑地地区の追加指定を受付けます。生産緑地地区の指定には、公道に接している面積500㎡以上の一団の農地であることのほか、様々な基準があり、一定の要件が必要になりますので、生産緑地地区の追加指定を希望される方は、受付期間内に農業振興センター農地課に御相談ください。

生産緑地制度とは？

生産緑地制度とは、市街化区域内にある農地等の農業生産活動に裏付けられた緑地機能に着目し「公害又は災害の防止」「農林漁業と調和した都市環境の保全」等に役立つ農地等を計画的に保全し、良好な都市環境の形成を図るための都市計画制度であり、市街化区域内の農地で営農を続ける方にとっては非常に有用な制度になっております。生産緑地地区の指定申出をされた農地のうち、特に「公害又は災害の防止」に効用があると認められるものについては、「市民防災農地」に登録していただき、災害発生時に一時避難場所又は仮設住宅建設用地・復旧用資材置き場として利用させていただきます。川崎市において、1,940箇所、305.7haの生産緑地地区が指定されております。(最新告示:平成22年12月21日)



相談・受付期間

平成23年3月25日(金)～4月25日(月)
(土曜日及び日曜日を除く。)

相談・受付時間

9時～12時・12時45分～16時

相談・受付場所

川崎市農業振興センター農地課
(高津区梶ヶ谷2-1-7 JAセレサ梶ヶ谷ビル2階)
※御来所の際は、申出地がわかる図面等を御持参ください。

内容(申請までの手順)

1 追加指定の相談、指定基準等の説明
[3月25日から]



2 申出様式の配布、提出書類の案内



3 申出の受付(提出書類を揃えていただきます。)
[4月25日まで]

★既に指定をされている方及び追加指定を検討されている方へ お願い★

生産緑地地区の指定は、対象となる土地の地番に基づいて都市計画決定をいたしますので、生産緑地地区の土地において分合筆をしようとする場合は、必ず農業振興センター農地課へ事前に御相談ください。

(お問い合わせ先)

川崎市農業振興センター農地課保全係 ☎860-2461 FAX 860-2464

ホームページアドレス <http://www.city.kawasaki.jp/28/28nogyo/home/nogyo/kawasaki/nogyo.htm>

(『かわさきの農業』で検索)

これから育てるべき“有望品種”を探る!

埼玉県
加須市

トキタ種苗(株)大和根研究農場へ行ってきました!!

◆◆「うちで開発した“ちゃんこ葱”、私が農家だったらこのネギを作るね。」とネギを手に力説するのはトキタ種苗(株)の開発普及室部長。「味がいいんだよ。大手うどん店



が1日に2トン、このネギを使っているんだ。年3回栽培できるしね。」続く説明に、参加者の市内農業者16名は真剣に聞き入り

ます。(上写真)この農場は直売向けのミニ野菜やイタリア野菜などの研究農場で、これからの有望品種について視察をしました。◆◆同社は、イチゴのようなハート型のミニトマト“トマトベリー”が有名。案内された温室内では、トマトベリーのほか、ハート、丸、楕円など様々な形のミニトマトがあり、同社の主力品種“サンチェリーピュア”については詳しい説明がありました。「味も自慢なので、ぜひ食べてみて」。ここからはみんなで食べくらべタイム。「甘くておいしい」、「これが一番」、「これはちょっと皮が残る



な」など、参加者は独自にランキングをしていました。(左写真)

◆◆午後は、講堂で直売向け推奨品種について講義があり、直売所も過当競争の時代、

いつでも多くの品目があることが重要とのこと。ある直売所ではより多くの品目を出した農業者を表彰する制度も。新しい品目は売れないので、食べ方の提示など工夫が必要といったアドバイス

もいただきました。(右写真)◆◆朝から丸1日かけて、実際に、品種を見て・触れて・食べて、講義を聞いた今回の講座。「ちゃんこ葱を栽培したい。」といった参加者の声も聞こえました。川崎市に新しい品種がお目見えする日も近いかもしれません。



◆◆新世代ファーマー育成講座は、平成23年度も実施します。農業者の皆さんの御参加をお待ちしています。

掲 示 板

農業者年金制度のご紹介

～農業者年金で老後の安心を!!～

農業者年金は加入者や受給者の人数に影響されにくい個人ごとの積立方式の公的年金です。貯蓄の感覚で加入し税制のメリットを受け、実質所得のアップを図ることができます。

<農業者年金の特長>

- ・保険料を自由に設定できます。
保険料は月額2万円から6万7千円まで千円単位で自由に決められます。また納付期間中は自由に保険料の増額・減額ができます。年金の脱退・加入も自由です。
- ・終身保険です。
年金は原則65歳から終身で受給できます。歳をとっても安定的、定期的に年金を受け取ることができます。

・節税効果があります。

納めた保険料は全額社会保険料控除の対象になります。また将来受け取る年金も、公的年金等控除が受けられます。

<農業者年金の加入要件>

農業者年金は、①国民年金の第1号被保険者で、②農業に年間60日以上従事し、③20歳以上60歳未満の方であればどなたでも加入できます。

募集案内 里山農業ボランティア育成研修会 「里山塾」の研修生を募集しています。

- 講座期間** 平成23年4月～平成25年3月(2年間)
場 所 麻生区黒川内の里山や農地
内 容 里山管理に関する基本的な実習
 (下草刈り、間伐、堆肥づくり、しいたけ栽培等)
募集人数 15名(応募者多数の場合は抽選)
応募資格 ①市内在住で65歳以下の方
 ②2年間継続して研修に参加できること
 ③研修終了後、里山農業ボランティアとして活動できること
応募期間 平成23年2月21日(月)～3月18日(金)
応募方法 区役所等で配布している受講申込書に必要事項を記入し、農地課へ送付してください。
お問い合わせ先 農業振興センター農地課(☎860-2461)
 *詳細は市政だより(3月1日号)、川崎市ホームページ「かわさきの農業」でも御案内しています。

各賞の受賞者

- (社)大日本農会農事功労者緑白綬有功章受賞
名古屋 重雄(宮前区馬絹)
- 平成22年度立毛共進会(前期開催)特選受賞
施設野菜 : 松井 秋彦(宮前区初山)
 <4月の部>
ウメ : 持田 康夫(宮前区東有馬)
野菜類 : 森 和浩(高津区久末)
 森 育三(高津区久末) 永井 敏雄(宮前区神木本町)
 芹田三木夫(高津区末長) 森 和浩(高津区久末)
露地切花
 <夏の部> : 吉田 恵一(宮前区馬絹)
ナス : 杉田 功(宮前区菅生)
ナシ : 白井 正壽(多摩区菅福田堤)
 小林 明正(多摩区堰) 川名 徹(宮前区野川)
 鹿島 運(中原区下小田中)
ブドウ : 白井 正壽(多摩区菅福田堤)

野菜農家さんのお手伝いをします。

援農ボランティアの育成を目的として、農業技術支援センターが神奈川県・セレサ川崎農業協同組合・同そ菜部の協力を得て開講した「かわさきそだち栽培支援講座」の第1期生17名が2年間の講座を修了し、援農グループを立ち上げました。

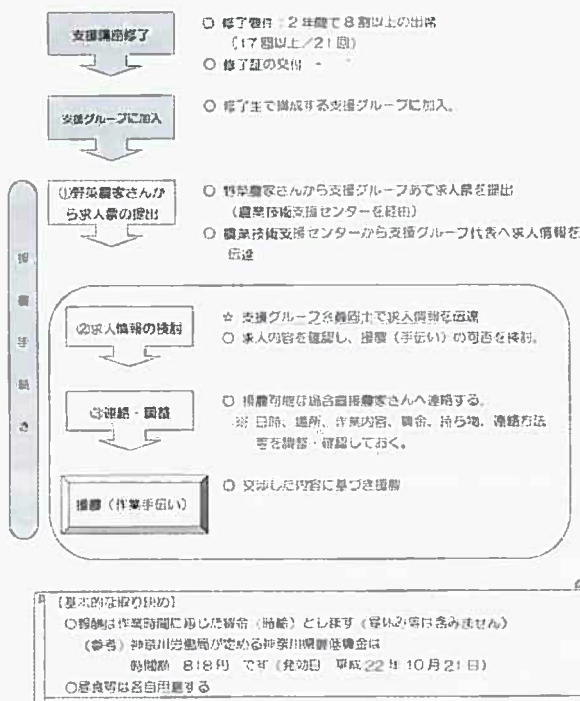
この講座は、多摩川ナン栽培支援講座に続く第2弾として、市内の野菜農家さんを援農するために実施

してきたものです。

繁忙期に人手が足りない、片付けを手伝ってほしいなど、援農を希望される方はぜひ御検討ください。
 講座の様子は市のホームページ
<http://www.city.kawasaki.jp/28/28nougic/home/top.htm> でも紹介しています。

詳細につきましては、農業技術支援センターへお気軽にお問い合わせください。

講座修了から援農までの流れ



かわさきそだち栽培支援求人票

※1. 川崎市内の生産農家として援農の希望を希望し、次の内容について、個人情報を提供することになります。

フリガナ	氏名			性別	電話番号
フリガナ	住所				
住所	〒 _____ 川崎市 _____ 区 _____ 丁目 _____ 番 _____ 号				
連絡先	フリガナ	姓	名	フリガナ	電話番号
作業日	希望する作業日(月) _____ 日(日) _____ 日(月) _____ 日				
作業内容	希望する作業内容(例: 除草・収穫・包装・選別・出荷・作業機の手入れ)				
賃金	希望する賃金(時給) _____ 円				
備考	その他(希望する作業時間、作業場所、作業機の手入れ等)				
申込者	氏名 _____ 住所 _____ 電話番号 _____				
申込日	_____ 年 _____ 月 _____ 日				

※2. 農業技術支援センターへ送付する際は、必ず「かわさきそだち栽培支援求人票」を添付してください。

※3. 農業技術支援センターへ送付する際は、必ず「かわさきそだち栽培支援求人票」を添付してください。

お問い合わせ先

農業技術支援センター ☎945-0153

今回は、宮前区馬絹で花き栽培を営んでいる小泉秀民さんのお宅を訪問しました。小泉さんは(現)神奈川農産アカデミーを卒業後22歳で就農、父(師)義造さんからは花き生産技術のほか、「作業は最後まで丁寧にすること」の大切さを学ばれたそうです。従事年数は37年、現在は後継者の健次さんと一緒に農業経営をされています。



栽培されている作物はハナモモやハクモクレンなどの枝物、ケイトウやコギクなどの切花など多品目に及び、現在は桃の節句に向けてハナモモの出荷作業の繁忙期を迎えています。ハナモモの樹は270本ほどあり、作業は春先まで続くとのこと。生産された枝物や切花はセレスモスやJAセレス川崎宮崎支店の直売(毎週金曜日



馬絹のハナモモをミュージアム川崎に展示

13時~14時)で購入することができます。

日頃から「とにかくいい品物を作りたい」という想いで栽培をされていて、出荷作業の際は規格分けに気を配っているそうです。また、都市化の進行する環境の中での農業散布などの作業はとても慎重に行っているとのこと。

小泉さんは21年度関東東海花の展覧会で金賞並びに農林水産大臣賞を受賞されるなど、これまで各種品評会において多くの優秀な成績を収められるとともに、JAセレス川崎花弁部馬絹支部の支部長を務められるなど多くの関係機関でも活躍されており、今後の抱負は「馬絹花き栽培技術の継承」と力強くおっしゃっていました。



“かわさきそだち”売ってます! 直売所紹介

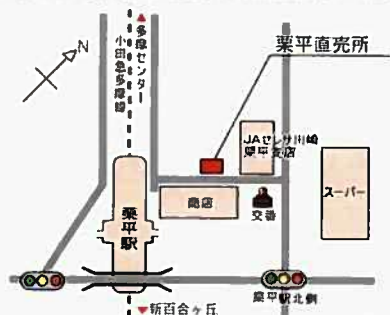
市に直売団体として登録されている直売所を紹介しています。

今回は、栗平直売所です。

今は、コマツナやにんじんなどの野菜が販売されています。

場所 JAセレス川崎栗平支店裏
住所 麻生区栗平2-2-12
交通 小田急多摩線栗平駅徒歩1分
販売日 毎週 月~土 10時~12時

※販売日、時間等は天候や収穫状況等により変更となることがあります。



連絡先
JAセレス川崎
柿生支店
☎988-1131



かわさきそだちでクッキング

小松菜と厚揚げの和えもの



材料 (4人分)

小松菜	1把	A 練りゴマ	30g
しょうゆ	大さじ1/2	砂糖	大さじ2
厚揚げ	1枚	塩	小さじ1/2

作り方

- 茹でて2~3cm位に切った小松菜にしょうゆをからめて軽く水気を絞る。(醤油洗いという)
- 厚揚げは熱湯をかけて油抜きをし、細かく切ってボウルに入れ、Aを加えてよく混ぜる。
- 2を1で和える。

「農」に関するご意見・ご感想や農のある風景(写真)等、皆様からのお便りをお待ちしております。郵送、ファックスもしくはメールにて送付してください。(〒213-0015 川崎市高津区梶ヶ谷 2-1-7 JA せれ梶ヶ谷ビル 2 階 川崎市農業振興センター ファックス 044-860-2464 Eメールアドレス 28nogyo@city.kawasaki.jp)

また、『お宅訪問!!かわさきの農家』の取材にご協力いただける方も随時、募集中です。

ホームページアドレス <http://www.city.kawasaki.jp/28/28nogyo/home/nogyo/kawasakinonogyo.htm>
(『かわさきの農業』で検索)